

「ぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式を実施 ～京都市七条第三児童館の児童7名が「まちのぼうさいキッズ賞」を受賞～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：柿木 一宏・東京海上日動火災保険株式会社専務代表取締役）では、第21回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」において「まちのぼうさいキッズ賞（日本ユネスコ国内委員会会長賞）」を受賞した「京都市七条第三児童館の4・5・6年生児童7名」に対し、2月15日（土）に京都市立七条第三小学校体育館において表彰式を実施しました。

本コンクールは、子どもたちが楽しみながらまちを探検し、まちにある防災、防犯、交通安全に関係のある施設や設備を発見し、地域の人などにインタビューし分かったことをマップにまとめる実践的安全教育プログラムです。2024年度は全国の小学校、子ども会、児童館など419団体から7,590人が参加し、1,413作品（うち、当協会のタブレットを用いて作成したデジタルマップは604作品）が寄せられ、そのうち22作品が入賞（デジタルマップ特別賞含む）しました。

本作品は、交通安全をテーマとして、七三学区社会福祉協議会や下京区社会福祉協議会、京都市島原包括支援センターや福祉器具の会社や下京警察署に協力いただき、4・5・6年生の児童7名が実際に車いすや歩行者を使い地域の道を通行した体験を踏まえ、狭い道や段差を高齢者や障害のある方、ベビーカーを使用する方がどうすれば安全・安心に行き来できるかなどを考え、調査し、3枚のマップにまとめた見ごたえのある作品です。

表彰式では、保護者などが見守る中、当協会近畿支部の田中事務局長から表彰状および副賞が贈呈されました。また、渥美審査委員長による審査総評の動画を視聴し、改めて田中事務局長より日本ユネスコ国内委員会会長賞に選ばれた意義を児童にわかるように説明がありました。

低学年の保護者も多数出席され、発表を聞いて「次回は親子で参加したい」との声が多くあり、指導された児童館の先生からも「親子で地域の良さを知り、安全について学んでもらえると嬉しい」との感想がありました。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携し、各種防災教育の普及啓発に取り組んでまいります。



発表



表彰状授与



集合写真